

# 日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2023年1月12日 木曜日

## XLIFFファイル翻訳支援アプリの作成(4) - 翻訳済みテキストの活用

Oracle APEXには10言語（ドイツ語、英語、スペイン語、フランス語、イタリア語、ブラジル・ポルトガル語、繁体中国語、簡体中国語、日本語、韓国語）の翻訳済みテキストが含まれています。

APEXの翻訳済みのメッセージは、APEXがインストールされているスキーマにある表 **WWV\_FLOW\_MESSAGES\$** に保存されています。これは内部表で、**Autonomous Databaseでは直接アクセスすることはできません**。標準ビューも提供されていないため、翻訳済みメッセージはオンプレミスのインスタンスにインストールしたAPEXから取り出す必要があります。

Oracle Database Express Editionなどを使ってOracle APEXの環境を作成し、メッセージを取り出すことにします。**このような環境がすでに作成済み**として、作業を進めていきます。

最初にSYSまたはSYSTEMにて、データベースに接続します。

APEXがインストールされているスキーマは**APEX\_バージョン番号**となっています。先頭3桁はメジャー、後ろ3桁がマイナー・バージョンです。APEX 22.2の場合、**APEX\_220200**となります。

current\_schemaをAPEX\_220200に変更します。

```
alter session set current_schema = apex_220200;
```

```
SQL> alter session set current_schema = apex_220200;
```

```
Session altered.
```

```
SQL>
```

APEXのワークスペース・スキーマがAPEXDEVとして作成済みとします。表 **WWV\_FLOW\_MESSAGES\$** のコピーをAPEXのワークスペース・スキーマに作成します。

```
create table apexdev.apex222_messages as select * from wwv_flow_messages$;
```

```
SQL> create table apexdev.apex222_messages as select * from wwv_flow_messages$;
```

```
Table created.
```

```
SQL>
```

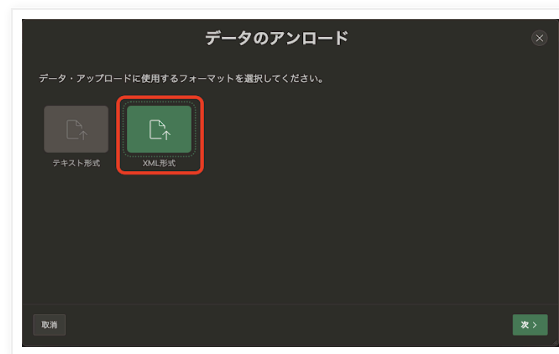
表 **WWV\_FLOW\_MESSAGES\$** のコピーが **APEX222\_MESSAGES** として作成されました。

APEXのワークスペースにサインインし、**SQLワークショップ**のユーティリティの**データ・ワークショップ**を開きます。

**データのアンロード**を実行します。

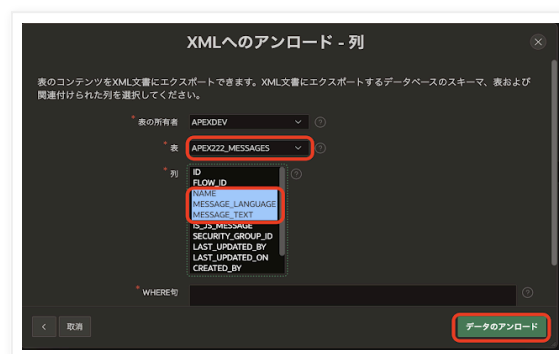


アンロードする形式として、より安全な**XML形式**を選択します。



アンロード対象の**表**として先ほど作成した**APEX222\_MESSAGES**を選択します。列として最低限**NAME**、**MESSAGE\_LANGUAGE**、**MESSAGE\_TEXT**を選択します。

以上を設定し、**データのアンロード**を実行します。



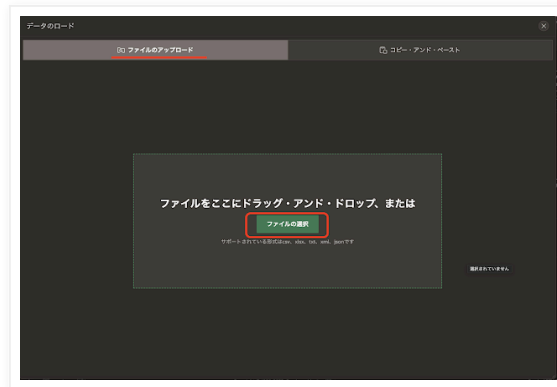
ファイル**apex222\_messages.xml**がダウンロードされます。

メッセージのインポート先のインスタンスに作成されているAPEXワークスペースにサインインし、先ほどと同様に**データ・ワークショップ**を開きます。

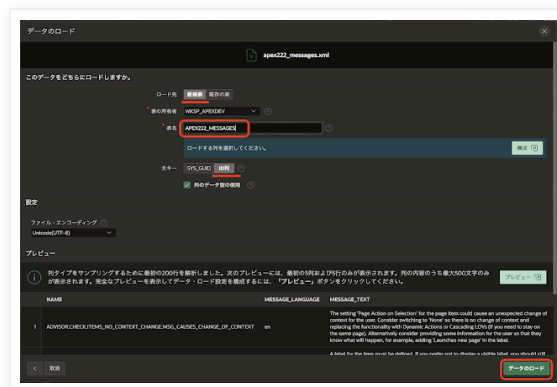
今回は**データのロード**を実行します。



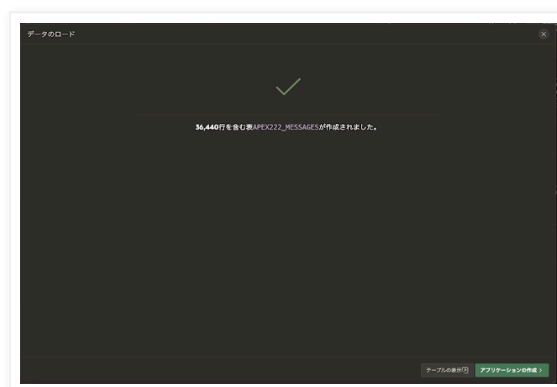
先ほどダウンロードしたファイルapex222\_messages.xmlを、ファイルとして選択します。



ロード先は新規表、表名はAPEX222\_MESSAGESを指定します。ここで作成する表のデータを表CWR\_MESSAGESに投入します。



データのロードが完了したら、データ・ワークショップでの作業は終了です。



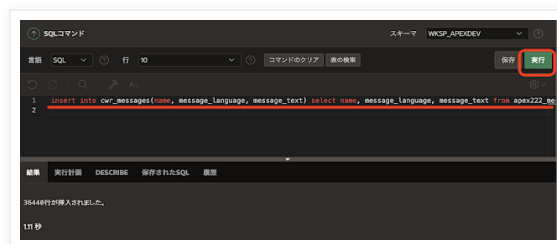
以前のバージョンのテキストが投入済みである場合は、最初に表CWR\_MESSAGESより削除します。

`delete from cwr_messages where name in (select name from apex222_messages);`



APEX 22.2に含まれているメッセージを表CWR\_MESSAGESに移入します。

```
insert into cwr_messages(name, message_language, message_text) select name,  
message_language, message_text from apex222_messages;
```



以上で、Oracle APEXに含まれている翻訳済みテキストを、表CWR\_MESSAGESに投入できました。

最後の記事では、本記事で作成したXLIFFファイル翻訳支援アプリケーション自体を、表CWR\_MESSAGESに投入したAPEXの翻訳済みのテキストを使用して翻訳してみます。

続く

Yuji N. 時刻: 15:31

共有

<

ホーム

>

ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

詳細プロフィールを表示

Powered by Blogger.